

どなたでも参加できます
お気軽にご参加ください！

2024年**10月24日(木)**
18:10-19:50
(*質疑応答含む)

「行為」と「世界」

アーレントで考える
人間の「生」

哲学や思想に関心をもっている人はたくさんいるのではないのでしょうか。

山梨県立大学、そして山梨県内の各大学には、複数の哲学・思想系の研究者がいます。今回企画者は、山梨県内の哲学・思想系研究者を連続的に招いて、哲学・思想を学ぶ緩やかなネットワークを構築できないかと考えています。

第1回のパイロット版企画として、企画者である橋爪が、自らの研究対象であるドイツ系ユダヤ人哲学者ハンナ・アーレントについて平易に語ります。

アーレント (Hannah Arendt, 1906-1975) は、「私たちがしていること」について問い、私たちを取り囲む「世界」と、私たちが為す「行為」について独自の思索を展開しました。人間がそのもとで生きている「人間の条件」とは何かを紐解いていきます。

「すぐには役立たないこと」をじっくり学ぶ経験をしてみませんか。

講演 **橋爪 大輝**
(山梨県立大学 准教授)

司会
コメント **橋本 憲幸**
(山梨県立大学 准教授)

場所 **山梨県立大学
飯田キャンパス
C101教室**

※**申込不要・無料**

【講演者略歴】東京外国語大学外国語学部卒業。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。二松學舎大学非常勤講師などを経て、現在山梨県立大学人間福祉学部准教授。博士(文学)。専門は哲学・倫理学。主著に『アーレントの哲学』(みすず書房、2022年)、共著に『アーレント読本』(法政大学出版局、2020年)ほか。

お問い合わせ 山梨県立大学橋爪研究室 (t-hashizume@yamanashi-ken.ac.jp)